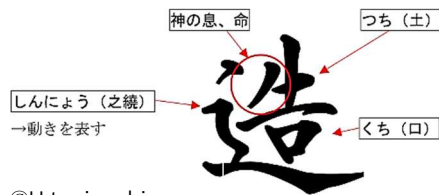


「創世記」に登場する「造」と「作」の違いは？



▶ 創世記にある 36 の「造」

創世記 2:7 主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に**命の息**を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。**【命】**=[い]き[の]み[ち]→息の道、[い](息)の[ち](靈)=息の内(いのち)、生内(いきのうち)、息力(いのち)



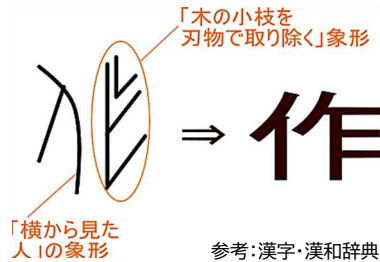
©H.taniguchi

- 01:01 初めに、神は天地を**創造**(→ヘブライ語「バーラー」)された。
01:07 神は大空を**造**り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。そのようになった。
01:16 神は二つの大きな光る物と星を**造**り、大きな方に昼を治めさせ、小さな方に夜を治めさせられた。
01:21 神は水に群がるもの、すなわち大きな怪物、うごめく生き物

- をそれぞれに、また、翼ある鳥をそれぞれに**創造**された。神はこれを見て、良しとされた。
01:25 神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを**造**られた。神はこれを見て、良しとされた。
01:26 神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を**造**ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」
01:27 神は御自分にかたどって人を**創造**された。神にかたどって**創造**された。男と女に**創造**された。
01:31 神はお**造**りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。
02:03 この日に神はすべての**創造**の仕事を離れ、安息なさったので、第七の日を神は祝福し、聖別された。
02:04 これが天地**創造**の由来である。主なる神が地と天を**造**られたとき、
02:18 主なる神は言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を**造**ろう。」
02:22 そして、人から抜き取ったあばら骨で女を**造**り上げられた。主なる神が彼女を人のところへ連れて来られると、
03:01 主なる神が**造**られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。「園のどの木からも食べてはいけない、などと神は言われたのか。」
05:01 これはアダムの系図の書である。神は人を**創造**された日、神に似せてこれを**造**られ、
05:02 男と女に**創造**された。**創造**の日に、彼らを祝福されて、人と名付けられた。
06:06 地上に人を**造**ったことを後悔し、心を痛められた。
06:07 主は言われた。「わたしは人を**創造**したが、これを地上からぬぐい去ろう。人だけでなく、家畜も這うものも空の鳥も。わたしはこれらを**造**ったことを後悔する。」
06:14 あなたはゴフェルの木の箱舟を**造**りなさい。箱舟には小部屋を幾つも**造**り、内側にも外側にもタールを塗りなさい。
06:15 次のようにしてそれを**造**りなさい。箱舟の長さを三百アンマ、幅を五十アンマ、高さを三十アンマにし、
06:16 箱舟に明かり取りを**造**り、上から一アンマにして、それを仕上げなさい。箱舟の側面には戸口を**造**りなさい。また、一階と二階と三階を**造**りなさい。
07:04 七日の後、わたしは四十日四十夜地上に雨を降らせ、わたしが**造**ったすべての生き物を地の面からぬぐい去ることにした。」
08:06 四十日たって、ノアは自分が**造**った箱舟の窓を開き、
09:06 人の血を流す者は／人によって自分の血を流される。人は神にかたどって**造**られたからだ。
14:19 彼はアブラムを祝福して言った。「天地の**造**り主、いと高き神に／アブラムは祝福されますように。
14:22 アブラムはソドムの王に言った。「わたしは、天地の**造**り主、いと高き神、主に手を上げて誓います。
35:01 神はヤコブに言われた。「さあ、ベテルに上り、そこに住みなさい。そしてその地に、あなたが兄エサウを避けて逃げて行ったとき、あなたに現れた神のための祭壇を**造**りなさい。」

35:03 さあ、これからベテルに上ろう。わたしはその地に、苦難の時わたしに答え、旅の間わたしと共にいてくださった神のために祭壇を**造**る。」

▶創世記にある 20 の「作」



- 3:21 主なる神は、アダムと女に皮の衣を**作**って着せられた。
4:12 土を耕しても、土はもはやお前のために**作物**を産み出すことはない。お前は地上をさまよひ、さすらう者となる。」
4:22 ツィラもまた、トバル・カインを産んだ。彼は青銅や鉄でさまざまな道具を**作**る者となった。トバル・カインの妹はナアマといった。
9:20 さて、ノアは農夫となり、ぶどう畑を**作**った。
11:3 彼らは、「れんがを**作**り、それをよく焼こう」と話し合った。石の代

わりにれんがを、しっくい代わりにアスファルトを用いた。

27:4 わたしの好きなおいしい料理を**作**り、ここへ持って来てほしい。死ぬ前にそれを食べて、わたし自身の祝福をお前に与えたい。」

27:7 『獲物を取って来て、あのおいしい料理を**作**ってほしい。わたしは死ぬ前にそれを食べて、主の御前でお前を祝福したい』と。

27:9 家畜の群れのところへ行って、よく肥えた子山羊を二匹取って来なさい。わたしが、それでお父さんの好きなおいしい料理を**作**りますから、

27:14 ヤコブは取りに行き、母のところを持って来たので、母は父の好きなおいしい料理を**作**った。

27:17 自分が**作**ったおいしい料理とパンを息子ヤコブに渡した。

27:31 彼もおいしい料理を**作**り、父のところへ持って来て言った。「わたしのお父さん。起きて、息子の獲物を食べてください。そして、あなた自身の祝福をわたしに与えてください。」

30:37 ヤコブは、ポプラとアーモンドとプラタナスの木の若枝を取って来て、皮をはぎ、枝に白い木肌の縞を**作**り、

33:17 ヤコブはスコトへ行き、自分の家を建て、家畜の小屋を**作**った。そこで、その場所の名はスコト(小屋)と呼ばれている。

37:3 イスラエルは、ヨセフが年寄り子であったので、どの息子よりもかわいがり、彼には裾の長い晴れ着を**作**ってやった。

41:29 今から七年間、エジプトの国全体に大豊**作**が訪れます。

41:30 しかし、その後に七年間、飢饉が続き、エジプトの国に豊**作**があったことなど、すっかり忘れられてしまうでしょう。飢饉が国を滅ぼしてしまうのです。

41:31 この国に豊**作**があったことは、その後に続く飢饉のために全く忘れられてしまうでしょう。飢饉はそれほどひどいのです。

41:34 また、国中に監督官をお立てになり、豊**作**の七年の間、エジプトの国の産物の五分之一を徴収なさいますように。

41:47 豊**作**の七年の間、大地は豊かな実りに満ち溢れた。

41:53 エジプトの国に七年間の大豊**作**が終わると、

【参考】料理を作る／酒を造る／味噌を造る／醸造。

通常、人間がつくりだすことのできないものだけに、「造」という漢字を使います。

しかし、これはどうでしょう。「お刺身」のことを「おつくり」といいます。この「おつくり」という漢字は、「お作り」ではなく、「お造り」と書きます。

なぜでしょうか？古代、日本人は、「魚」を神と信じ、お魚をいただくとき、「魂」は神様にお返しして、その身を「恵み」としていただくと思っていました。

このことから、刺身のことを、「お造り」と書き、神への感謝の気持ちを表しました。

キリストを象徴する言葉として、ジーザス・フィッシュ (Jesus Fish) やクリスチャン・フィッシュ (Christian Fish) を使いますが、どこか通じるものを感じます。

ΙΧΘΥΣ (ギリシア語)：イクトゥス

